

全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会新型コロナウイルス感染症に関する申し合わせ事項

■感染対策ルール（感染拡大防止のために全員に求められること）

1. 大会前2週間における健康状態で以下の事項に該当する場合は感染症対策責任者と相談のうえ参加を見合わせること
 - ・ 体調が良くない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
 - ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
2. マスクを着用する（受付時や着替え時、ウォーミングアップでの呼吸が苦しくない程度の運動時、運動を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）
3. 咳エチケットに十分配慮する
4. 手洗い、手指消毒をこまめに行う
5. 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保する
6. 3密（密閉、密集、密接）を避ける
7. 握手、抱擁などは行わない
8. フィールド上での唾・痰吐き、うがい等は絶対にしない
9. タオル、飲料ボトルなどの共用はしない
10. 健康チェックシートの提出
11. 会場においては競技中の選手、ベンチからのコーチング以外に大きな声を出さないようにする
12. 北海道教育庁・北海道高体連・北海道サッカー協会 が示す通知・注意事項・ガイドライン等を遵守する

■チームに対応を求めること

1. チームは代表決定後、感染対策責任者を決め、大会運営側責任者と密に連絡を取り合うこと
2. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
3. いかなる理由（風邪、体調不良など）があっても37.5℃以上の発熱があった方は、競技場へ連れてこないこと
4. 会場入りできるのは、選手・スタッフを含めて1チーム上限を37名とする（スタッフ5名、登録選手20名、マネージャー2名、補助生徒10名を上限とする）
5. 無観客で開催するため観戦ができないことをチーム関係者・保護者等に周知・連絡徹底すること
6. スカウティングの為の撮影等については、各チームの責任で感染対策を十分にし、各会場の定められたスペースで行うこと（範囲を指定します）

■大会参加に関する申し合わせ事項

1. 本年度に限り、申し込み締め切り日までに支部代表チームが出場できない場合に、代替チームが道大会に参加する権利を有する
2. 申し込み締め切り日以降については、支部代表チーム内に感染者等が出た場合は、下記3の通りとする
3. 選手登録変更後の登録メンバー20名の変更は原則受け付けない。但し、例外として以下の場合において本大会への参加が不可能となった選手に限り、当番校へ選手変更届を提出し、承認を得たのちに変更が認められる。なお、変更が認められて登録外となった選手を再登録することはできない
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出た場合
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の陽性とされた者との濃厚接触者（中リスク区分）として認定された場合
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の低リスク区分として認定され、学校への登校が認められていない場合
 - ・ 新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖・学年閉鎖の場合

■その他

1. プロスポーツ団体や企業、大学等の関係者によるスカウト目的の観戦は、生徒の今後の進路に関わる問題となり得ることが考えられ、当該生徒にとって将来を左右することとなる場合もあることから、感染症予防を徹底し、感染予防の協力を得られる場合は入場を許可する。但し、北海道が緊急事態宣言の対象区域とされている期間は許可しない。
 - ・ 当日、本部に健康チェックシート・自身の身分を証明するもの（名刺等）を提出する
 - ・ 会場に入場できるのは1団体1名のみとする。複数の会場で競技が行われる場合は、それぞれ会場1名とする
2. 報道による取材については許可するが、当日、本部に健康チェックシート・自身の身分を証明するもの（名刺等）を提出する

参考資料

H K F A 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン及びQ & A（2021年3月15日改訂版）

道高体連 令和3年度全国高等学校総合体育大会全道大会の開催について（2021年5月25日付）

道教育庁 大会等への参加における新型コロナウイルス感染症対策について（通知）（2021年5月26日付）